

持続可能な地域交通を考える会

2008年度 第2回 定例会資料

2008年 6月 14日(土) 14:00～

於・高津区役所4階「市民活動支援ルーム」

今日の議題

- 各会員からの報告
- 「基本的な考え方」について
- 会員制度と会計について
- かわさき市民活動センターへの登録
- 「持続可能な地域交通」とは？
- 映像資料の活用について（上映）

基本的な考え方(現行)

自動車の発明と実用化が人々の生活に便益をもたらしたことは盛んに指摘されるどころだが、半面、その自動車の野放図な利用により自然環境の破壊、資源の浪費、健康と安全な生活への脅威、税金の浪費などを引き起こし、私たち市民の健康で文化的な生活を奪い、さらには地球規模での自然の循環を狂わせ、気候変動という危機の原因にもなっていることは、あまり意識されていない感がある。

1970年代より自動車は工場に代わり大気汚染源になっており、たとえば川崎市では1994年に環境基本計画を定めて対策を志したが、残念ながら自動車公害はますます悪化してしまった。さらに、1990年代以降は自動車の中でも特に自家用乗用車いわゆる「マイカー」と貨物乗用車が氾濫したことにより、温室効果ガスの中でもとりわけ気候変動への寄与度が高い二酸化炭素(CO2)の実に3割近くを排出するに至った。

しかも、かつての日本では公共交通が比較的高度に発達していたところに「マイカー」が侵入したことで、今や郊外ばかりでなく地方都市においても公共交通サービスの劣化が目立ち、「マイカー」の濫用による渋滞の発生と、これによる公害の蔓延、資源の浪費、道路予算の浪費といった外部不経済が積み上がっていると指摘されて久しいが、そうした諸問題への対策は遅々として進んでいない。

ところが、日本より数十年早く「モータリゼーション」の害に直面した欧米の都市では、その教訓をもとに持続可能な地域交通を考える機運が高まり、取り組みの具体例にも事欠かない。私たち日本人も、私たち自身と子孫の生活環境を破壊しながら突き進んでいる自動車問題に真剣に立ち向かい、有効な対策を立て、いち早く実行に移すことが、今を生きる私たちの責務であると考えます。

私たちの持続可能な生活のために、こうした課題に取り組むための場としての本会を設立し、協議・活動に取り組むことを決意する。

2008年 6月 14日(土)

持続可能な地域交通を考える会

3

現行案の問題点

- 排出CO2割合などの一部数値が古い
- 誤記（「貨物乗用車」）
- 「持続可能な地域交通」の定義がほしい
→大まかな考え（徒歩、自転車、公共交通の活用）はあるものの、詳細な話は今後議論しながら考えたい
- 広がりを持たせたい
- 市民の立場から考えるという概念を加えたい
→目的に盛り込むことで対応できるのでは
- 簡潔にした方がいい

基本的な考え方(改定案)

自動車の発明と実用化が人々の生活に便益をもたらしたことは盛んに指摘されるどころだが、半面、その自動車の野放図な利用により自然環境の破壊、資源の浪費、健康と安全な生活への脅威、税金の浪費などを引き起こし、私たち市民の健康で文化的な生活を奪い、さらには地球規模での自然の循環を狂わせ、気候変動という危機の原因にもなっていることは、あまり意識されていない感がある。

1970年代より自動車は工場に代わり大気汚染源になっており、たとえば川崎市では1994年に環境基本計画を定めて対策を志したが、残念ながら自動車公害はますます悪化していった。さらに、1990年代以降は自動車の中でも特に自家用乗用車いわゆる「マイカー」と貨物車が氾濫したことにより、温室効果ガスの中でもとりわけ気候変動への寄与度が大きい二酸化炭素(CO2)の約2割を排出するに至った。

さらに、公共交通サービスの劣化に伴う交通弱者の発生、交通事故、渋滞、資源の浪費、道路の新造に偏重した公共投資といった様々な問題が積み上がっているにもかかわらず、そうした諸問題への対策は遅々として進んでいない。

一方、日本より数十年早く「モータリゼーション」の害に直面した欧米の都市では、その教訓をもとに持続可能な地域交通を考える機運が高まり、取り組みの具体例にも事欠かない。私たち日本人も、私たち自身と子孫の生活環境を破壊しながら突き進んでいる自動車問題に真剣に立ち向かい、有効な対策を立て、いち早く実行に移すことが、今を生きる私たちの責務であると考えます。

私たちの持続可能な生活のために、こうした課題に取り組むための場としての本会を設立し、協議・活動に取り組むことを決意する。

2008年6月14日(土)

持続可能な地域交通を考える会

5

会員制度

会費負担や活動内容などにより会員制度を区分してみると...

- 会員
地域主体で、主に定例会や各種イベントに参加できる方。
会運営(議決権あり)や会費負担などで積極的に関わっていただける方を想定。
- 協力会員
資料提供や情報発信などご協力いただける方。(会費未納となった会員も退会の申し出がなければこの扱いで継続。)
- 賛同人
具体的な活動には参加しないものの本会の主旨に賛同して下さる方。名誉会員の扱い。
- 賛助会員
資金面で支援していただける個人・団体(もしあれば)

2008年6月14日(土)

持続可能な地域交通を考える会

6

会計(年間経費見込み)

- インターネット(ホームページ、メール)

○ レンタルサーバ!6,000円/年

(初期費用!1,000円を含む)

○ ドメイン名 !3,800円/年

当初は負担が大きいですが、ある程度までなら規模拡大しても金額は変わらない。

- 打ち合わせ時の資料代(参考・部数は前回の場合)

単価約15円(A4判5枚両面)×10部×12回=1,800円

- 会報(今後もし発行する場合の参考に)

約1,800円/500枚(2つ折A4判)×4(季刊の場合)

(1部あたりA3判1枚、白色森林認証紙使用)

- 必要に応じて通信費、名刺、封筒など。

規模により変動

2008年6月14日(土)

持続可能な地域交通を考える会

7

会計(会費のあり方)

- ひとまず実費弁償に充てる分を確保したい。
- ただし、本会に興味をもってくださる方の参加の障害にならないようにしたい。
- 会計担当者が必要か?
- 事務処理を煩雑にしないため簡素な仕組みにしたい。(年会費制、集金方法など工夫)
- 諸会の会費額の例を参考に：
年会費で無料、500円、1,000円、2,000円の例。

2008年6月14日(土)

持続可能な地域交通を考える会

8

現在募集中！

- ホームページ表紙に月替わりで掲載する写真・イラスト
- 資料室に掲載する資料（図表等）
- 会に興味を持ってくださる方・会員
- その他の企画案



今月の写真：生田緑地ばら苑

2008年6月14日(土)

持続可能な地域交通を考える会

9

「持続可能な地域交通」とは？

自動車（特に自家用乗用車）の増加に伴う環境問題の悪化や道路整備の限界に着目し、他の交通手段への移行をすすめることで便益を保ちながら社会全体の環境負荷を減らすことを主目的としている。

- 徒歩・自転車や公共交通機関の利用促進
- トランジットモールなどの導入
- 低公害車（CNGバスなど）の導入促進、自動車交通の円滑化（バス専用レーンの導入など）

2008年6月14日(土)

持続可能な地域交通を考える会

11

その他の議題

- かわさき市民活動センターへの登録（登録内容の確認）
- 「持続可能な地域交通」とは？
- 映像資料の活用（映像の紹介とその活用方法の検討）

2008年6月14日(土)

持続可能な地域交通を考える会

10

「持続可能な地域交通」の評価の視点

- 環境! -! 大気質、水質、土壌、生態系への影響
- 社会! -! 住民生活への影響（公害・交通「事故」）、交通弱者（子供、高齢者および「マイカー」を使わない・使えない人）の移動の保障
- 経済! -! 交通そのものの費用（内部費用）および交通が社会全体に及ぼす費用（外部費用：公害・事故の医療費や失業保障、道路整備など）の抑制、費用対効果の改善

参考：植田和弘編『持続可能な地域社会のデザイン—生存とアメニティの公共空間』第6章「地域交通戦略の設計」、新田保次著、有斐閣、2004年、ISBN! 4-461-05362-6。

2008年6月14日(土)

持続可能な地域交通を考える会

12

「持続可能な地域交通」の主な取組事例

- 環境的に持続可能な交通(EST)普及推進事業
(国土交通省、警察庁、環境省)
<http://www.estfukyu.jp/>
- 環境に配慮した持続可能な地域交通施策の実現
手法に関する調査(環境再生保全機構)
http://www.erca.go.jp/taiki/reserch/kan_chosa.html
- 各自治体の取り組み
(環境、まちづくり、建設、生活保障などの担当部局)

2008年6月14日(土)

持続可能な地域交通を考える会

13

映像資料の活用

- 一般市民のみなさんに交通問題について意識してもらい、その意識を広め・深めるための一活動として、映像の活用を検討したい。(上映する映像は一例)

今回ご紹介する映像資料の出典:

StreetFilms.org

<http://www.streetfilms.org/>

2008年6月14日(土)

持続可能な地域交通を考える会

14

次回定例会議題(予定)

- 川崎市内の公共交通サービスの現状と課題
- 広報(ホームページやチラシなど)について
- 各種報告と今後の活動予定について

日時・場所

2008年7月10日(木) 18:30~

於・高津区役所4階「市民活動支援ルーム」

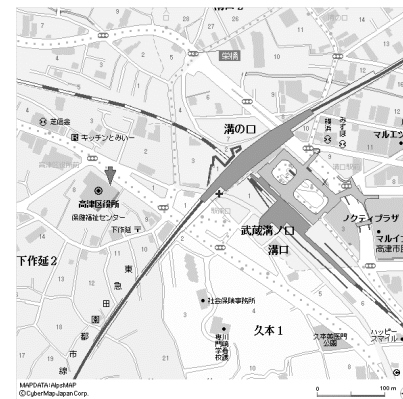
■! 毎月第2木曜日夜と土曜日昼の交互に開催予定! ■

2008年6月14日(土)

持続可能な地域交通を考える会

15

次回定例会会場案内



- 川崎市高津区下作延2-8-1
高津区役所4階! 会議室
- JR南武線! 武蔵溝ノ口駅
東急田園都市線! 溝の口駅
南口より徒歩数分
- 川崎市バス溝15~19系統
「高津区役所」下車徒歩1分
- 自転車は正面玄関付近の駐輪場をご利用ください。
- 夜間・閉庁日開催時は、正面玄関横の総合案内(守衛室)に声をかけ、渡される名札を着用してください。

2008年6月14日(土)

持続可能な地域交通を考える会

16